

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング
 コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 伸昭
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 山下 典之
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 03-5405-4424

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第3四半期 | 9,612 | — | 94 | — | 7 | — | △867 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 7,825 | — | 221 | — | 146 | — | 55 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第3四半期 | △6,838.01 | — |
| 20年3月期第3四半期 | 461.13 | 458.65 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 | | |
| 21年3月期第3四半期 | 6,479 | — | 260 | — | 4.0 | 2,032.25 | | |
| 20年3月期 | 7,808 | — | 1,163 | — | 14.4 | 8,865.07 | | |

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 257百万円 20年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| 20年3月期 | — | — | — | — | 0.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | — | 0.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 12,600 | 15.7 | 150 | △42.5 | 20 | △86.0 | △790 | — | △6,229.79 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 126,834株 20年3月期 126,834株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 24株 20年3月期 24株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 126,810株 20年3月期第3四半期 118,986株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記の業績予想は、当社が本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により実際の数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融不安による株価の下落、急激な円高などにより企業収益が圧迫され、景気の後退が一段と鮮明になりました。外食産業においても、原料の相場価格の高騰は一部沈静化してきたとはいうものの、在庫調整等により末端価格への影響が顕在化するには至らず、一方で、個人消費意欲の減退による外食機会の減少、食品偽装等による消費者の食への不安の高まりなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは既存業態の業績向上並びに新規業態の開発・改善、店舗運営の効率化に取り組みでまいりました。

既存事業の業績においては、既存店売上高前年同期比が、「牛角」94.2%、「とりでん」105.4%「おだいどこ」96.3%、「串特急」95.8%となり、上半期と比較して10～12月度は上昇傾向にありました。また、「とり鉄」においても、ランチ営業や宴会獲得が好調であったこと、店舗オペレーションが定着してきたことから当第3四半期の業績も計画を上回って推移いたしました。

一方、北関東地区で直営店を中心に展開する㈱ゲンジフーズでは、当初の事業計画に大きく遅れが生じたため、第2四半期にのれんの減損損失を計上いたしました。当第3四半期に実施した、客数増をねらいとするグランドメニューの改定や、集中的なオペレーション指導の効果が定着しつつありますので、引き続きサービスの質と効率の向上に向けて改善を行ってまいります。

また、直営店は、当第3四半期中に、㈱プライム・リンクにおいて「牛角」藤井寺店を閉店いたしました。この結果当第3四半期末における当社グループの直営店舗数合計は95店舗となりました。また、フランチャイズ店は、「とりでん」1店舗、「おだいどこ」4店舗、「とり鉄」1店舗を出店し、「牛角」3店舗、「とりでん」1店舗、「とり鉄」1店舗、「貴族の森」3店舗を閉店した結果、当第3四半期末における当社グループのフランチャイズ店舗数合計は382店舗となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,612百万円、営業利益は94百万円、経常利益は7百万円、四半期純損失は867百万円となりました。なお、訴訟の解決による和解金戻入として29百万円を特別利益として計上し、店舗の固定資産等の減損損失73百万円、㈱ゲンジフーズののれんの減損損失781百万円を特別損失として計上しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は6,479百万円となり、前連結会計年度末に比較し1,328百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済に伴う現金及び預金の減少及びのれんの減損処理等によるものであります。

負債合計は6,219百万円となり、前連結会計年度末と比べ425百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済によるものであります。

純資産については、既述ののれんの減損計上等による四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末と比べ903百万円減少し、260百万円となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べて178百万円減少し818百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりとなりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、860百万円となりました。これは、主に仕入債務の増加174百万円及び売上債権の減少157百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、274百万円となりました。これは、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出235百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、764百万円となりました。これは、主に長・短期借入金の返済612百万円及び社債の償還186百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後も厳しい経営環境が継続すると予想されるものの、グループの事業会社である㈱プライム・リンク、㈱フーディアム・インターナショナル及び㈱とり鉄においては、計画どおり経常黒字を達成する見込みであります。また、㈱ゲンジフーズにおいても、メニューチェンジやグループノウハウの活用による店舗運営教育等によって計画数値のキャッチアップを行っており、平成20年11月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

③リース取引に関する会計基準等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正（企業会計基準委員会）））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正（企業会計基準委員会）））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

この変更に伴い、リース資産が有形固定資産に52百万円計上され、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 891,077 | 1,111,554 |
| 売掛金 | 761,712 | 919,684 |
| 商品 | 63,761 | 47,777 |
| 貯蔵品 | 7,540 | 8,595 |
| その他 | 421,035 | 510,102 |
| 貸倒引当金 | △52,471 | △59,478 |
| 流動資産合計 | 2,092,656 | 2,538,236 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,365,735 | 1,330,586 |
| その他（純額） | 413,924 | 361,206 |
| 有形固定資産合計 | 1,779,659 | 1,691,793 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 971,762 | 1,894,158 |
| その他 | 141,736 | 146,520 |
| 無形固定資産合計 | 1,113,498 | 2,040,679 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 1,175,709 | 1,136,993 |
| その他 | 362,788 | 429,830 |
| 貸倒引当金 | △44,518 | △29,002 |
| 投資その他の資産合計 | 1,493,979 | 1,537,821 |
| 固定資産合計 | 4,387,138 | 5,270,294 |
| 資産合計 | 6,479,794 | 7,808,531 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 780,742 | 606,680 |
| 短期借入金 | 528,000 | 550,200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 681,346 | 856,974 |
| 未払法人税等 | 19,944 | 42,966 |
| 賞与引当金 | 14,094 | 15,180 |
| その他 | 1,189,287 | 1,113,886 |
| 流動負債合計 | 3,213,413 | 3,185,887 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 535,500 | 722,000 |
| 長期借入金 | 1,584,880 | 1,899,723 |
| 退職給付引当金 | 13,053 | 14,494 |
| その他 | 872,888 | 823,036 |
| 固定負債合計 | 3,006,322 | 3,459,253 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債合計 | 6,219,736 | 6,645,141 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 499,536 | 499,536 |
| 資本剰余金 | 457,833 | 457,833 |
| 利益剰余金 | △698,232 | 168,895 |
| 自己株式 | △1,428 | △1,428 |
| 株主資本合計 | 257,709 | 1,124,837 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | △658 |
| 評価・換算差額等合計 | — | △658 |
| 少数株主持分 | 2,348 | 39,211 |
| 純資産合計 | 260,058 | 1,163,390 |
| 負債純資産合計 | 6,479,794 | 7,808,531 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日) |
|-----------------|--|
| 売上高 | 9,612,943 |
| 売上原価 | 4,596,143 |
| 売上総利益 | 5,016,800 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,922,265 |
| 営業利益 | 94,534 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 1,429 |
| 受取配当金 | 0 |
| その他 | 15,784 |
| 営業外収益合計 | 17,213 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 84,848 |
| その他 | 19,072 |
| 営業外費用合計 | 103,920 |
| 経常利益 | 7,827 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 62 |
| 和解清算益 | 29,577 |
| その他 | 18,361 |
| 特別利益合計 | 48,001 |
| 特別損失 | |
| 前期損益修正損 | 1,714 |
| 減損損失 | 854,419 |
| その他 | 38,994 |
| 特別損失合計 | 895,129 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △839,299 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 30,897 |
| 法人税等調整額 | △4,037 |
| 法人税等合計 | 26,859 |
| 少数株主利益 | 968 |
| 四半期純損失(△) | △867,128 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

| | |
|---------------------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △839,299 |
| 減価償却費及びその他の償却費 | 274,371 |
| のれん償却額 | 133,157 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 8,509 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,429 |
| 支払利息 | 84,848 |
| 減損損失 | 854,419 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 157,972 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △14,928 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 174,062 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △19,959 |
| その他 | 56,016 |
| 小計 | 867,739 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,429 |
| 利息の支払額 | △69,977 |
| 法人税等の支払額 | △34,086 |
| 受取手数料の受取額 | 95,238 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 860,343 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △170,200 |
| 定期預金の払戻による収入 | 212,200 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △235,513 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 26,546 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △17,000 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △20,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △81,856 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 7,300 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △9,184 |
| その他 | 13,074 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △274,632 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △22,200 |
| 長期借入れによる収入 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △590,471 |
| 社債の償還による支出 | △186,500 |
| 割賦債務の返済による支出 | △65,016 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △764,187 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △178,476 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 996,954 |

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

| | |
|------------------|---------|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 818,477 |
|------------------|---------|

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) | |
|----------------|--|-----------|
| 区分 | 金額(千円) | |
| I 売上高 | | 7,825,578 |
| II 売上原価 | | 3,486,409 |
| 売上総利益 | | 4,339,169 |
| III 販売費及び一般管理費 | | 4,117,950 |
| 営業利益 | | 221,218 |
| IV 営業外収益 | | |
| 1. 受取利息 | 2,740 | |
| 2. 受取配当金 | 4 | |
| 3. その他 | 23,028 | 25,773 |
| V 営業外費用 | | |
| 1. 支払利息 | 78,217 | |
| 2. その他 | 21,887 | 100,104 |
| 経常利益 | | 146,887 |
| VI 特別利益 | | |
| 1. 固定資産売却益 | 717 | |
| 2. 店舗解体費用戻入益 | 12,000 | |
| 3. 和解金収入 | 14,814 | |
| 4. 償却債権取立益 | 14,041 | |
| 5. その他 | 1,512 | 43,085 |
| VII 特別損失 | | |
| 1. 減損損失 | 48,305 | |
| 2. 和解金 | 13,451 | |
| 3. 企業買収費用 | 9,995 | |
| 4. その他 | 19,400 | 91,152 |
| 税金等調整前四半期純利益 | | 98,819 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 25,463 | |
| 法人税等調整額 | 2,368 | 27,831 |
| 少数株主利益 | | 15,751 |
| 四半期純利益 | | 55,236 |

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) |
|----------------------------|--|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前第3四半期純利益 | 98,819 |
| 減価償却費及び償却費 | 219,420 |
| 貸倒引当金の増減額 | 9,509 |
| 賞与引当金の増減額 | 10,870 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,745 |
| 支払利息 | 78,217 |
| のれん償却費 | 112,892 |
| 減損損失 | 48,305 |
| 店舗解体費用戻入益 | △12,000 |
| 売上債権の増減額 | △244,890 |
| たな卸資産の増減額 | △15,189 |
| 仕入債務の増減額 | 292,659 |
| 未払消費税等の増減額 | 77,431 |
| リース資産減損勘定の取崩額 | △52,488 |
| その他 | △88,275 |
| 小計 | 532,536 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,745 |
| 利息の支払額 | △63,027 |
| 法人税等の支払額 | △20,563 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 451,690 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △149,029 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 33,795 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △568,721 |
| 営業譲受けによる支出 | △1,836,721 |
| 敷金・保証金に係る支出 | △52,790 |
| 敷金・保証金の返還による収入 | 71,234 |
| 長期前払費用に係る支出 | △16,674 |
| その他 | 13,427 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,505,480 |

| | 前第3四半期連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日) |
|----------------------------|--|
| 区分 | 金額(千円) |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額 | 981,800 |
| 長期借入れによる収入 | 2,236,309 |
| 長期借入金の返済による支出 | △921,398 |
| 割賦購入未払金の返済による支出 | △132,118 |
| 新株の発行による収入 | 197,944 |
| 社債の発行による収入 | 176,114 |
| 社債の償還による支出 | △110,500 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,428,151 |
| IV 現金及び現金同等物の増減額 | 374,361 |
| V 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,320,645 |
| VI 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 277 |
| VII 現金及び現金同等物の第3四半期末残高 | 1,695,284 |